

JCHO札幌北辰病院

広報誌



ポラリス

Polaris

hokushin.jcho.go.jp

INDEX

- 2 院長から
2020年を迎えて～新年の御挨拶～

- 3 医療の現場から①
研修医日誌

- 4 こんにちは 医療連携・相談室です
『勇気会 医療法人 北央病院』

- 5

- 6 第5回JCHO地域医療総合医学会が
開催されました
第6回調理技術勉強会～開催報告～

- 7 新任医師のご紹介
退任医師のお知らせ
インフォメーション
●いきいき健康教室開催のお知らせ
●がんサロン イベントのお知らせ
●研修会のお知らせ

No.54
2020.1

豊富な食物繊維が整腸作用を促します

りんご

りんごの皮にはペクチンやポリフェノールが多く含まれており
整腸作用を促しコレステロールを排出する作用もあるので
老化防止やガン予防にも効果があると言われています。

また有機酸を多く含むので
疲労回復効果も期待できます。



独立行政法人 地域医療機能推進機構
JCHO札幌北辰病院



2020年を迎えて ～新年の御挨拶～

院長 高橋 昌宏



新年あけましておめでとうございます。

今年一年が皆様にとりまして良き年になりますことを心よりお祈り申し上げます。また、旧年中は皆様に多くのご支援を頂きましたこと、病院職員を代表して厚くお礼申し上げます。

今年は令和になって初めてのお正月です。昨年は新天皇即位に関連するさまざまな行事ありました。「上皇」という言葉は日本史の教科書で学んだくらいでしたから、実際に昨年の即位を目の当たりにすると歴史の目撃者になったような不思議な感覚を覚えました。台風による被害は昨年も各地で起き、現在も避難所での生活を余儀なくされている住民が多くいらっしゃいます。一日も早い復興をお祈りしたいと思います。昨年日本で一番印象に残る出来事と言えば何といってもラグビーのワールドカップだったと思います。ベスト8まで進んだ日本チームは本当に感動的なゲームを私たち日本人に見せ続けてくれました。

さて、今年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが7月に開催されます。56年前の東京オリンピックで私(当時12歳)が一番印象に残っているシーンは柔道男子無差別級の神永昭夫VS アントン・ヘーシングの決勝戦です。この時、残念ながら、神永は抑え込みで敗れるのですが、勝敗が決した瞬間、興奮したオランダチームの一人が畠の上に飛び込んできました。その時、ヘーシングは厳しい表情で彼を片手で制したのです。子供心にも「自分も彼のような人間になりたい」と思ったことを記憶しています。古い話を持ち出して申し訳ありません。今年の夏、どの様な素晴らしいドラマが待っている

のか、今から楽しみです。

さて、昨年の暮れに厚生労働省が発表した2019年の人口動態統計の年間推計で日本人の国内出生数は86万4千人で1899年の統計開始以来初めて90万人を下回りました。出生数が死亡数を下回る人口の「自然減」も51万2千人と初めて50万人を超え、少子化・人口減が加速しています。少子化は社会保障の支え手の減少に直結します。少子化克服には政府の対策だけでなく、新卒偏重の是正や働き方改革をさらに進めていく必要性があります。新元号にあやかった令和婚現象で20年以降に出産が増えることに期待したいと思います。

JCHO札幌北辰病院は来るべき少子・高齢化社会に対応出来るような体制を構築するとともに、安心・安全な医療を提供すべく日々研鑽していくと考えています。

本年もよろしくお願い致します。



▲円山公園の野生のリス
(院長撮影)



医療の
現場から

1

研修医日誌

初期研修医 伊藤 昂哉



初期研修医1年の伊藤昂哉です。研修医生活が始まって10か月が経とうとしています。振り返れば、研修開始当初は、社会人一年目、そして医師一年目として、新しい環境や業務について行くのに必死であったように思います。今でも、未熟で不慣れな面はまだまだあり、日々懸命に業務にあたっているのは変わりませんが、最近は少しだけ心に余裕も生まれ、日々の業務の中でいくつかの気づきを得ることができました。

まず、医療の業務は、実に多くの多職種の協力で成り立っているということです。4、5月は、早く「一人で色々な業務をこなせるようになりたい」などと考えておりました。もちろん、日々勉強や経験を重ねていき自分自身を向上させていきたいという気持ちは変わりません。しかし、医療は決して「一人」で行うものではなく、医師、看護師、薬剤師、OT/PT/ST、技師、栄養士、医療事務など「全員」の協力があって初めて成り立つものだと実感しています。そして、札幌北辰病院は非常に接しやすいスタッフの方々ばかりで、本当に恵まれた環境の中で研修や業務が行えていると思います。今後も常に感謝の心を忘れずに、多職種とのチームワークを大切にしていきたいと思います。

次に感じていることは、医療現場には正解や答えがないということです。学生時代は教科書に記載された単純な知識を勉強すれば解決することばかりでした。しかし、現場で求められる判断は、そもそも正解などなく、目の前の患者さんにとって本当にベストな診療とは何か、複雑で曖昧な事柄ばかりです。まだまだ知識や経験不足も感じて

いる日々ですが、そんな中で未熟な自分ができることがあるとすれば、それは、何がベストなのか「問い合わせること」だと思います。これからも問うことを止めずに真摯に研修を続けていきたいと思います。

最後に実感していることは、本当に多くのことを患者さんから学ぶということです。患者さんと接する中で、その人の人柄や病気に対する思いを感じることができます。多くの場合、患者さんは、人生の先輩方であり、その言葉の一つ一つからは、病歴だけでなく、その人の歩んだ人生や毎日の生活を感じることができます。それは、未熟な医師として、そして人間として、かけがえのない経験であると実感しております。今後も、患者さんとの関わりや出会いを大切にしながら、謙虚な気持ちを忘れずに医師人生を歩んでいきたいと思います。

これからも日々の中で感じたことを大切にしながら、充実した研修を送っていきたいと思います。



▲モーニングレクチャーの様子



こんにちは 医療連携・相談室です

～医療連携部門 寄稿編～

勇気会 医療法人
北央病院

第9回目は北央病院の最高経営責任者清水昭子会長に寄稿いただきました。
昭和54年10月1日に開院され、診療科目は内科、血液・腫瘍内科、消化器内科です。

北極星の下で^{もと}

患者さんが選ぶ医師・病院、患者さんが期待する医療の質を担保してくれる病院＝現在の独立行政法人地域医療機能推進機構、札幌北辰病院ではないでしょうか。最近は研修医の方々の評価も頗る高いとの事です。九代の各院長先生の懐の深さと学術的評価も研修医の人気の原因らしい。

当院が開業を決め準備を進めていた昭和五十四年頃、橋本 博先生が釧路労災病院の院長（義兄）室で、特異な経営哲学で未来産業（橋本博先生曰く‥）を熱く話していらしたが、兄が最後に「君、豆腐一丁いくらか判る?‥」との問い合わせ、「〇〇円」と即座に答えられたものの、兄は「何グラムの豆腐が幾らと答えなければ病院経営は難しいヨ‥」と。

労災病院（全国黒字病院第2位）の院長として、そのような事まで知っていたのか、経営するにはそこまで考えなければならないのかと一瞬気が引き締まる思いがし、早々と兄の部屋を出てしまった事を思い出しました。

昭和五十四年秋に当院は開業しましたが、その当時の白石区（現在厚別区に分区）近隣には大型医療施設は皆無でした。大きな手術をする病院として、東は江別市立病院、西は菊水の国立病院がありましたが、時間外はなかなか受け入れ困難な

状態でした。

そのような時に、札幌中心部から北辰病院が移転すると決まった知らせに地域住民として本当に嬉しかった事を覚えています。九代の院長は北大第一外科の先生達で、外傷を含めた緊急手術に対応していただけるようになり、地域医療の体制が整ったことが、札幌副都心の名に相応しい街作りの飛躍的な発展に繋がったと思っています。

九代の院長先生達は皆、北大一外から当院の手術の応援にお越し頂いた医師の方々であり一件の医療事故を発生させることもなく今迄、当院を継続出来たのは高いレベルの医療をご指導または協働して下さった賜物と感謝しております。

実際、現在地に移転されるまで、「北辰病院」と「札幌厚生病院」に緊急手術を必要とする患者さんを迎えて行くのが当時の私の仕事の一つでもありました。1日に何度も往復したこともあり大変でしたが、今は懐かしい思い出です。

繰り返しになりますが、平成二年、北辰病院が札幌社会保険総合病院と改称し、現在地に移転し、その責務を果たされてきた事が、新札幌だけでなく厚別の副都心化に大きく貢献していると思っています。数々の勉強会や委員会を開催して頂き、様々な医療関係者が勉強できる、地域医療の充実こそが街作りの根源であります。安心して

暮らせる街として新札幌が認識されたのです。私立大学キャンパスの移転もあり、正に若者と高齢者が共存できる街として今後益々発展する事でしょう。

平成二十六年、再びJCHO札幌北辰病院となった今、まさに北辰が北辰たらんとしています。

我々住民にとって北の夜空に輝くポラリスであり続けて欲しいと願っております。

最後にポラリスに纏わる思い出を一つ、

平成十六年、秦 温信先生にロータリークラブへの入会を勧めた際、先生から「清水さんはポラリスにこだわっているそうですね・・」とポツリと言われました。当院も北央病院という名称なのでポラリスを何かに使用できないか、実際、色々考えていた所でした。ただ、その時は具体的に使用目的も決まっていなかったので、「先生がお使い下さい」とだけ答えた記憶があります。

病院広報誌ポラリスに寄稿する事になった今、冷静に考えて当院で使用しなくて良かったとつくづく思っています。我々の牽引役である北辰病院にこそ相応しいと思います。

時代が変わり令和となり、更に数十年後、再び時代が変わっても北の夜空に輝き続ける星、地上では北辰病院が地域の指導的役割を担い続けてくださる事を願いつつ筆を置きます。

令和2年1月6日
勇気会医療法人北央病院
CEO 清水 昭子

勇気会 医療法人 北央病院

〒004-0021
札幌市厚別区青葉町11丁目2-10
TEL:011-892-8531 FAX:011-892-8535



▲病院 外観



▲病院 中庭





第5回JCHO地域医療総合医学会が開催されました

令和元年11月1日(金)、2(土)にパシフィコ横浜にて第5回JCHO学会が開催され、当院からも院長をはじめ21名が参加し、8題の演題を発表してまいりました。

今回のメインテーマは「士魂商才」とされ、2日間活動を行いました。

【発表演題】

所属部署	演者名	演題名
栄養管理室	川原 哉絵	糖尿病連携手帳を用いた集団栄養食事指導の取り組み
総合診療科	若林 崇雄	札幌北辰病院総合診療科の3年間の経過
3階東病棟	湊 めぐみ	患者・家族と医療者がイメージする退院時のADL認識の相違点～三者が納得する退院を目指して～
放射線部	木村 智茂	CT検査で偶然発見される脊椎圧迫骨折の検討
放射線部	井上 園香	冠動脈CTにおけるバンディングアーチファクト部分に対する評価の試み

発表された演題は、多くの議論がなされました。また、継続テーマのシンポジウムもあり、盛会のうちに終了いたしました。次年度のJCHO学会は熊本で開催される予定です。

今回の経験を今後の業務・活動に生かしてまいります。

所属部署	演者名	演題名
薬剤部	佐々木静香	医薬品の適正使用に向けた病棟薬剤師の関わり ～呼吸器内科化学療法レジメンの見直しによる点滴時間の短縮～
4階西病棟	菅原 綾香	治療器具装着患者の災害時避難における初期対応の習得 ～初期対応カードの携帯と実技テストを取り入れた成果と課題～
腎・透析センター	入場 明子	血液透析開始から止血確認までの過程におけるベッド周囲血液飛散の実態



第6回調理技術勉強会～開催報告～

10月23日に第6回調理技術勉強会を開催しました。今回のテーマは「筋肉にいい食事の工夫～良質なたんぱく質を効率よく食べられる食事～」でした。

優秀賞は、辻調理師と竹田栄養士の「ビタミンと合わせて撮る！中華ランチ」で、献立内容は「白飯」「油淋鶏」「卵と野菜の中華炒め」「豆腐と中華風サラダ」「豚肉と野菜の中華風スープ」でした。今後、当院の行事食として病院食で提供予定です！

今回参加した4組の献立レシピを当院ホームページに掲載しています。

QRコードから参照いただけますので、ぜひご家庭でのおいしい食卓の参考にしてください。

【掲載場所】

ホームページトップ

↓
「管理栄養士と調理師による献立レシピ」
からご覧いただけます。

レシピ掲載サイト





新任医師のご紹介

外科 医師

やまもと
山本 啓一郎

退任医師のお知らせ

外科 医師 **深澤 拓夢**

Information

インフォメーション

●いきいき健康教室開催のお知らせ(参加無料)

1月23日木
14:00~15:00

「詳しく知ろう、大腸がん」

開催場所:当院2階講義室 講師:下國達志(外科診療部長)

2月 5日水
14:00~15:00

「誰にでもできる心肺蘇生」

開催場所:当院2階講義室 講師:看護師



●がんサロン開催のお知らせ(参加無料)

1月29日水
14:00~15:00

「がん患者さんの栄養～免疫力のアップする食事～」

開催場所:当院2階講義室

対象:当院通院中、入院中のがん患者さんや家族、地域の方々

2月25日火
14:00~15:00

「がん患者さんに伝えたい～緩和ケアについて～」

開催場所:当院2階講義室

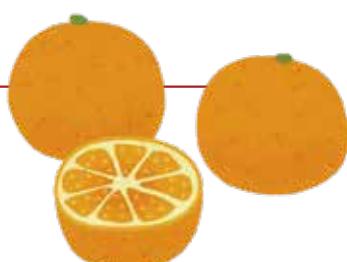
対象:当院通院中、入院中のがん患者さんや家族、地域の方々

●研修会のお知らせ(医療従事者対象)

2月27日木
18:00~

専門・認定看護師会(相談会)

開催場所:当院2階講義室



3月18日水
19:00~20:30

新さっぽろ栄養士連絡会

開催場所:当院 2階講義室

「2020年診療報酬改定」

(講師:北海道栄養士会医療栄養士協議会 会長)

外来担当医師一覧

2020年1月1日現在

受付時間

午前/ 8:00~11:00

午後/12:30~15:00

●土曜、日曜、祝日は休診

面会時間

午後/13:00~19:30

予約及び予約変更受付

午後/14:00~17:00

●土・日・祝日を除く

●小児科のみは時間内で予約も変更も可能

診療科		月	火	水	木	金	備考
総合診療科	午前	田口/石立	若林	渡邊	若林	渡邊	※午後(初診)の受付時間 は14:30まで
		石川	スフィ(9:30~)	須藤	石川	須藤	
	午後(初診)	スフィ	田口	石川	石立	スフィ	
	午後(予約制)	—	若林	渡邊	若林	渡邊	
内科	糖尿病	増田	野田	野田	増田	増田	※完全予約制
		—	派遣医	(増田)	派遣医	—	
	腎臓病	—	—	—	野田	—	
		—	佐藤	石田	—	山田	※完全予約制
	呼吸器	—	佐藤	石田	—	山田	
		相坂	梅田	今井	相坂	今井	※完全予約制
	消化器	—	—	—	—	—	
		高木	寺下	西村/吉田	高木	寺下	※完全予約制
	循環器	午前	西村	吉田	小笠原	野澤	
		一般	北	藤田	—	北	北(ペースメーカー第2・4週)
		内藤	—	—	—	中原	※一般外来は完全予約制
		専門新患外来	中野	北	内藤	中原	※専門新患外来は予約不要
	リウマチ科	午後	—	中野	中原	藤田	※ペースメーカー外来は 第2・4週
		—	—	藤田	内藤	中野	
	血液	午前	派遣医	—	派遣医	—	※完全予約制
		午前	—	安達	—	—	※完全予約制
	小児科	午後	—	安達	—	—	
		午前	伊藤	木澤	稻澤	伊藤	東館
		(一般)	木澤	—	伊藤	稻澤	木澤
		午後	第1・3週:東館 (川崎病外来)	稻澤 (血液/ 乳児検診(1歳まで))	伊藤 (神経外来)	東館 (心臓外来)	伊藤 (神経外来)
		—	木澤 (慢性リウマチ外来)	—	—		木澤 (慢性リウマチ外来)
		学童ワクチン (予約制)	予約注射・ 予防接種 (予約制)	第2週:派遣医 (腎臓外来)	—		
		第3週:沼田 (精神衛生相談)	—	—	—		
外科	外科 消化器外科	午前	小林	高橋 中川	下國	—	下國
		午後	小林	高橋 中川 佐々木	—	—	下國
	ヘルニア外来	午前	小林	—	—	—	
乳腺外科	午後	小林	—	—	—	—	
	午前	西川	—	西川	西川	—	
	午後	—	—	—	西川	—	
整形外科	午前	派遣医	—	第1・3週 派遣医	—	第1・3・5週 派遣医	※完全予約制
	午後	—	—	—	—	—	※水曜日は上肢専門
皮膚科	午前	松村	松村	松村	松村	松村	
	午前	安藤	安藤	安藤	安藤	安藤	
	午後	松村	松村	安藤 (手術)	安藤	安藤	
泌尿器科	午前	松田	松田	松田	松田	松田	
		三橋	三橋	三橋	三橋	三橋	
		村橋	村橋	村橋	村橋	村橋	
	午後	松田	松田	松田	松田	松田	
		三橋	(手術)	三橋	(手術)	三橋	
婦人科	午前	山中(予約制)	山中	山中	山中(予約制)	—	午前診察:9:30~
	午後	—	山中	山中	—	—	午後診察13:30~
眼科	午前	廣瀬	廣瀬	白枝	廣瀬	廣瀬	※3才児健診は予約制
	午前	白枝	白枝	翁	白枝	白枝	※午前の受付時間は 10:00まで
	午後(予約制)	(手術/予約外来)	(手術/予約検査)	(手術/予約外来)	(手術)	(手術/予約外来)	
耳鼻咽喉科	午前	(予約制)	栗原	栗原	栗原	栗原	
		稻村	—	(稻村)	稻村	稻村	
		派遣医	—	稻村	—	—	
	午後	栗原	—	稻村	—	—	
		稻村	—	(栗原)	—	—	
専門外来	午前	—	—	派遣医	—	—	※専門外来は完全予約制
	午後	—	—	派遣医	—	—	※神経内科は第1・3週AM
	午前	—	—	—	予約制	—	※腫瘍内科は第1・3週PM
	午後	予約制	—	—	—	—	
	午後	予約制	予約制	予約制	予約制	予約制	
	午前	—	原口	—	—	—	

※都合により代診・休診となる場合がございますので、事前にご確認願います。 ※各科の午後の(手術)(検査)(乳児健診・予防接種)は、診療時間の調整が必要ですので電話で確認してください。

